

障害理解促進事業の今後の方向性について

障害福祉課

今後の方向性（案）

人を集めるのではなく、人のいる場所へ出向き、理解促進を図ります

- 障害者週間に開催するパラスポーツに関するイベントの実施を見送り、多数の参加者が見込まれるイベント等の活用を検討します。
- 市内小中学校や高校等や市内企業との連携を図り、理解促進事業を実施します。
- 当事者の声を知ることができる情報発信を進めます。

令和3年度～令和6年度の実績（障害者週間イベント）

例年、12月の第1土曜日に志津コミュニティセンターで実施。パラリンピック出場選手の講演やパラスポーツの体験を通して、障害理解の促進を図るイベント。

■ 参加人数の少なさ（特に若年層）が課題

〈R3〉120人（コロナ禍につき先着150名）➡〈R4〉134人➡〈R5〉122人➡〈R6〉117人

□佐倉・産業大博覧会2024（R6.11/9・10開催）は約7,000人の参加者

□笑顔deつながるふくしフェスタ（R6.11/16開催）は約1,300人の参加者（佐倉市後援事業）

理解促進事業の具体例として…

- 産業大博覧会などのイベントで車いす体験やパラスポーツの体験ブースを設置
- 様々な視点から障害理解の促進を図ることができる「障害福祉教育プログラム（仮称）」を準備し、小中学校や高校等に提案します。
(例) □パラリンピック出場選手の講演
 - VRで発達障害の特性を体験
 - 福祉事業所での仕事体験 など
- 市内企業などへ出前講座などを実施します。
- パラリンピック出場選手や障害のあるアーティストのインタビューをはじめ、当事者の声を知ることができるホームページの充実やパネル展示などを進めます。

各部会からの意見（抜粋）

【会場・集客】

- オリオンハウスがイオンタウンでイベントを行った際、たまたま来ていた人も内容を見てくれた。規模にもよるが、開催規模により広さ等検討の余地がある。
- 一般の人も体験できるような、集客の目玉のイベントが必要。

【他のイベントに参加】

- 産業大博覧会のように、飲食ブースを設ければ人を引き付けるのではないか。
- 来場者数については、単体で障害者のイベントを行うのは難しくなっているのではないかと思う。福祉フェスタや他の大きなイベントに加わって行うという形はどうか。
- パラスポーツのイベントを始めた時は東京パラの年だったので、関心が高かった。その後は、事業所や当事者家族等、当事者の来場が中心になった印象。大きなイベントに加わる形の方が、様々な人に啓発が行えるのではないか。

【内容】

- ボッチャの市長杯みたいな大会形式にして、ボッチャの景品等を渡すのはどうか。
- また、ワークショップ（子どもが何か作れるスペース）を設けてみてはどうか。
- VRがとてもよかった。福祉に携わっている人だけではなく、もっと充実させていくのはどうか。スタンプラリーは子どもに人気があったので、また実施しても良いと思う。
- 今後もボッチャ一本でやっていくのは難しいのではないか。
- 小中学校の吹奏楽部、合唱部を呼べば、保護者も来る。
- 障害者作品展は、アート好きの方も来ている。
- 車椅子に乗ったり、マスクをしたり、イヤーマフをしたり、松葉杖を使う等で街に出てみる。
- 会場近くの事業所の「見学会」を行ってもらう。

「パラスポーツと心のフェスティバル」事業報告

(令和6年度 障害者理解促進事業)

日 時	令和6年12月7日(土) 10:00~15:00
場 所	志津コミュニティセンター
来場者数	合計 117名
講 師	17名 山崎 晃裕(陸上競技やり投げ)、片岡 昭雄(フライングディスク)、 身体障害者野球チーム千葉ドリームスター(15)
従事者等	18名(市職員) 29名(順天堂大学(8)、障害福祉事業所(19)、 まちのバリア点検会スタッフ(2))
来 賓	3名(敷根市議会議長、長谷川市議、 石塚 真也(フライングディスク))
そ の 他	2名(三谷市議、斎藤明美市議)
協 力	順天堂大学、佐倉市少年野球連盟審判部 間野台ジャイアンツ、 千葉県障害者スポーツ・レクリエーションセンター

【オープニングイベント】

- 山崎 晃裕選手に「本音で何でも聞いてみよう!」

【イベント内容】

- ボッチャ、ディスクゲッター(大ホール)
- 障害福祉サービス事業所による製作販売
- まちのバリア点検 展示(佐倉市障がい者団体等連絡会)
- 障害に関するマークの周知啓発
- 医療的ケア児・者の個別避難計画の作成についてパネル展示
- 競技用車いす
- 2022 パリパラリンピック、2025 東京デフリンピックのパネル展示
- VR 体験(発達障害) ※体験人数:56名
- ジャベボール体験教室
- フライングディスク(体験教室含む)
- 身体障害者野球(間野台ジャイアンツとの交流試合等)
- スタンプラリー(9か所+山崎 晃裕選手のメッセージ)
※達成者 54名







家族で障害について考えてみませんか？

パラスポーツと 心の フェスティバル

12月3日～9日は
障害者週間

パラスポーツや障害の疑似体験を通して、
「障害」について家族で話し合ってみませんか？
障害の有無に関わらず、どなたでも楽しめるポッチャや
フライングディスクなどのパラスポーツにチャレンジ!!
VR機器を活用した発達障害の特性を
疑似体験できるコーナー（先着順）もあります。

2024.12.7^土 10:00～15:00
志津コミュニティセンター



パラリンピック
2大会連続入賞！

山崎晃裕選手も登場！
10:15～

パリ 2024 パラリンピック7位入賞の
山崎選手（陸上競技 やり投げ・市内在住）が
皆さんからの質問に本音でお答えします！



競技のことはもちろん、日常生活や障害のことについてなど、
山崎選手に聞いてみたいことを募集しています。
QRコードからご投稿ください。

福祉事業所が販売する
お弁当やお菓子、
アクセサリなどの
販売も行います！



パラスポーツと 心の フェスティバル



スタンプラリーでしりあぶりねグッズをGET!!

- ①パラスポーツ体験や販売ブースをめぐるスタンプラリー
+
 - ②山崎選手からのメッセージを記入
- を達成したかたへ
先着100名のかたにしりあぶりねシールをプレゼント!
さらに、抽選で10名様に…
「しりあぶりねトートバッグ」をプレゼントします!!

会場MAP



タイムスケジュール (イベント終了時刻 15:00)

◆コミュニティセンター

- 9:30 VR体験・ポッチャ体験整理券配布
- 10:00 オープニングセレモニー (1階大ホール)
- 10:15 山崎晃裕選手に本音で
何でも聞いてみよう!!
- 10:30 各会場オープン
- 12:00 VR体験 整理券配布
- 14:30 販売ブース終了



◆グラウンド

- 11:00 オープニングセレモニー
- 11:30 交流試合 (12:30まで)
千葉ドリームスターVS間野台ジャイアンツ
フライングディスク体験開始
- 13:00~13:30 休憩
- 13:30 山崎晃裕選手によるジャバボール体験教室、
フライングディスク体験開始

スタンプラリー応募用紙

ぜんぶそろったら
受付でくじびきに
チャレンジにや♪



ポッチャ	デフリンピック パネル展示	まちの バリア点検	フライング ディスク	山崎晃裕選手からの メッセージ	
木よりの家	あらた	生活クラブ風の村 とんぼ舎さくら	コミュニティカフェ れんげ& ラッキーハウス	弁当工房 SAKURA	ONE&Only Cafe

スタンプラリーの注意事項

❖スタンプラリーのスタンプは、スタッフが押します。各ブースの担当スタッフへ用紙を渡してください。

❖「山崎晃裕選手からのメッセージ」は、会場内のどこかにいる山崎選手に「メッセージください!」と声をかけて、メッセージを聞いてください。用紙には、ご自身で記入してください。受付に鉛筆を用意しています。



やまざき あさひろ

山崎 晃裕 選手

(陸上競技やり投げ・順天堂大学)
東京2020パラリンピック、パリ2024
パラリンピック2大会連続入賞を果たす。

その他の注意事項

❖VR機器の使用年齢は13歳以上が対象となっています。目の発達等に悪影響を与える可能性があるため、12歳以下のお子様のご使用は推奨されておりませんのでご注意ください。

(希望される場合は、VRゴーグルを付けずに動画を閲覧していただくことが可能です)

❖体験を行う前は、怪我の無いように準備運動などを十分に行ってください。

❖各部屋での飲食は可ですが、ロビーや駐車場での食事は禁止されています。(水分補給は可)

❖ごみは各自お持ち帰りください。

❖具合が悪くなった場合は、お近くのスタッフまでお声がけください。

❖貴重品は自己責任で管理してください。

❖佐倉市が写真や動画の撮影を行い、市の広報活動として使用します。ご了承ください。

販売ブース参加事業所一覧

販売場所	事業所名	販売物品
1階	あらた	ART、オリジナルハンドメイド布小物
1階	コミュニティカフェ れんげ&ラッキーハウス	プリントTシャツ、手作りキーホルダー
1階	生活クラブ風の村 とんぼ舎さくら	クッキー、工芸品、野菜 ほか
1階	木ようの家	手芸品
2階	弁当工房SAKURA	お弁当、お惣菜
キッチンカー	ONE&Only Cafe	コーヒー、コーヒー豆 ほか

VR体験とポッチャ体験は 整理券を配布します

【VR体験】

9:30~ 整理券①配布

➡10:15~12:00の体験会(1回15分)の
整理券を1階受付で配布します。

12:00~ 整理券②配布

➡12:30~14:45の体験会(1回15分)の
整理券を1階受付で配布します。

【ポッチャ体験】

9:30~ 整理券配布(1回目)

➡11:00~13:00の体験会の整理券を
1階受付で配布します。

※混雑具合により、2回目の整理券配布を
行う可能性があります。

パラスポーツと
心の
フェスティバル

佐倉市広報番組 Weekly さくら(令和6年12月23日(月)~31日(火))

ケーブルネット296 地デジ放送10ch

放送時間 毎日 午前 10:00~10:20、午後 10:00~10:20

「第14回ふれあいギャラリー（障害者作品展）」事業報告

（令和6年度 障害者理解促進事業）

日 時 令和6年12月12日（木）～15日（日） 10:30～18:00

（12月12日は13:00開場、12月15日は15:00閉場）

場 所 佐倉市立美術館

来場者数 合計 623名

12/12:154名、12/13:150名、12/14:164名、12/15:155名

作 品 数 合計 167点 ※ひとり3点を上限に出展

個人19名、団体27団体（延べ261名が作品制作）

従事者等 延べ60名（実行委員会スタッフ）

12/12:18名、12/13:12名、12/14:11名、12/15:19名

（実行委員会スタッフ）

千手会（木の宮学園・さくら千手園）、愛光（めいわ・ルミエール）、

佐倉市手をつなぐ育成会、佐倉市障害者家族会かぶらぎ会、

佐倉東部地区社協、佐倉城の辺地区社協、内郷地区社協、

佐倉市ボランティア連絡協議会

来 賓 敷根文裕市議会議員

そ の 他 12/12 斎藤明美 市議会議員

12/12 山本英司 市議会議員

担 当 福祉部障害福祉課

（委託先：社会福祉法人佐倉市社会福祉協議会）

佐倉市広報番組 Weekly さくら（令和7年1月20日（月）～26日（日））

ケーブルネット296 地デジ放送10ch

放送時間 毎日 午前 10:00～10:20、午後 10:00～10:20

●会場の様子



